

事故を防ぐために

● 入浴剤は自分で購入するだけでなく、家族が購入したり、プレゼントでもらうこともあります。また、実際に使用するのも購入した本人とは限りません。使用した入浴剤がすべりやすいと感じた場合は、他の入浴者にも注意をうながしましょう。高齢者や子ども、妊娠中などはとっさのときに身体の自由が利かない場合があるので特に注意が必要です。

● 使用方法に記載された量より多く入れると濃度が高くなりよりすべりやすくなりますので注意しましょう。

● 製品によっては使用后、浴槽や床などに入浴剤の成分が残る場合があるので念入りに掃除をしましょう。



業界への要望

すべりやすい成分等が含まれる場合は、消費者に対する注意喚起を含めて何らかの対策が必要です。転倒事故の危険性がある場合は特に、その危険性がわかるような表示、高齢者や子ども、妊婦などに対する注意表示、早く浴槽の掃除をするなどの記載が望まれます。また、成分そのものをすべりにくい素材に変更するなどの改善も考慮してください。

● 本内容は、独立行政法人国民生活センターホームページ内の「くらしの危険」コーナーにてダウンロードできます。

<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>

● 本内容の詳細は、独立行政法人国民生活センターホームページに掲載しています。

<http://www.kokusen.go.jp/>

「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、協力病院等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。
 特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。
 商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。
 無断転載はお断りいたします。

独立行政法人
国民生活センター

〒108-8602 東京都港区高輪 3-13-22 TEL.03(3443)1208 ● 2008年3月発行

くらしの危険 Number 282

入浴剤での転倒事故

入浴剤は入浴そのものの温浴効果と洗浄効果に加えて、有効成分によりそれらが効果的に働くようにされていたり、保湿成分によりスキンケアの効果を加えたり、色や香りによりリラックス感を引き出すように工夫がされています。寒い冬場は温泉気分で入浴を楽しむのに人気ですが、最近は夏場の入浴に清涼感や爽快感を与えるものもあります。

入浴剤ですべる

一方で、入浴剤が入っているお風呂ですべて転倒しけがをしたという事故が寄せられています。中には複雑骨折などの重いけがをした例もあります。これらの事故は主にすべりやすい旨の表示がある入浴剤で起きていますが、風呂場は通常でも滑る、転倒するなどの事故が多い場所ですので注意が必要です。



こんな事故が起きています



複雑骨折をした

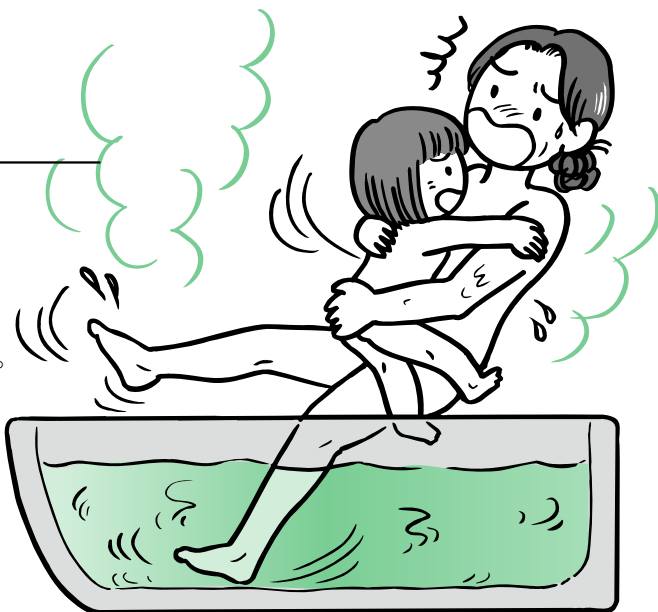
ケース 1 妻がコラーゲン入り入浴剤を入れた浴槽から上がる際、足をすべらせて洗い場に落ち、左腕上腕骨を複雑骨折。1ヶ月入院し、現在リハビリ中。ラベルに小さく『すべりやすい』という注意書きはあるがパッケージに警告表示をすべきではないか。
(事故発生年月 2007年2月)

手首のじん帯を痛めた

ケース 2 湯にとろみがつく入浴剤を1袋入れて入浴した。全身や浴槽がヌルヌルしたため、浴槽から上がろうとしたらすべて右手首のじん帯を痛めてしまった。
(事故発生年月 2006年5月)

肋骨を折った

ケース 3 妻が孫とお風呂に入り、妻が孫を抱えたときに、入浴剤を入れた浴槽ですべり、肋骨を1本骨折（孫にけがはなかった）。約3週間の治療が必要といわれた。
(事故発生年月 2002年6月)



足のじん帯を痛めた

ケース 4 浴槽にゼリー状の風呂になるという入浴剤を入れた。風呂の湯がゼリー状に固まるというのではなく、浴槽の下のほうにゼリー状の小さな固まりが沈んだようになった。妊娠5ヶ月の妻が入浴しようと片足を浴槽内にいれたところ足をすべらせ、股裂き状態になり左足のじん帯を損傷した。
(事故発生年月 1998年6月)

入浴剤の簡易テストをしました

国民生活センターでは、事故事例をもとに、入浴剤により浴槽内が滑りやすくなることがあるかを簡易テストしました。

いくつかの入浴剤を溶かした湯とさら湯とで計測値を相対比較してみたところ、事例と同種品を含め、すべることに関する注意書きがある入浴剤は、すべることに関する注意書きのない入浴剤よりすべりやすい傾向にありました。一方、半身浴などの目的でより多く入浴剤を投入することを想定し、使用方法に記載してある量の2倍の入浴剤を湯に溶かしてテストしてみたところ、よりすべりやすくなるという結果になりました。

注意書きには「(入浴剤を使用すると)浴槽が滑りやすくなる」、「床などにこぼすとすべりやすくなる」といったことが赤字や太字で記載されていますが、中にはそれらが他の注意書きと同じ大きさ、色で記載されているものも見受けられました。また、注意書きは、パッケージの裏面にだけ記載されているものが多くありました。初めてそのような入浴剤を使用する人は、裏面の注意書きを読まない限り、すべりやすいという認識をしないおそれがあります。

